



JFAプレミアカップに東北第2代表
で出場するレノヴェンスオガサFC

オガサFC いざ全国へ

盛岡のサッカークラブ

サッカーJ1鹿島のMF小笠原満男選手(大船渡高出)が総合アドバイザーを務める盛岡市のクラブチーム、レノヴェンスオガサFC(中村司代表)は3日から3日間、大阪府で行われるJFAプレミアカップに東北第2代表で出場する。昨年は東日本大震災の影響で出場を辞退しており2009年のチーム名変更後、初出場。参加チームのほとんどはJリーグのジュニアユース(中学生と強豪ぞろいだが、優勝に向けて練習に熱がこもる。

強豪ぞろい、練習に熱

レノヴェンスオガサは、レイソルSS盛岡から名称変更し、選手や指導者の育成を重点とした地域クラブチーム。昨年の県大会で4連覇し、東北大会ではベガルタ仙台に0-1で惜しくも敗れたが、全国大会の出場権を得た。

選手は盛岡市や滝沢村、花巻市など内陸部を中心に集まり、週5日、約2時間練習している。

3日から大会

DF三上貴久主将(滝沢ウェンズオガサは予選B南中3年)やMF鍛形グループで愛媛FC、ア美月君(石鳥谷中3年)ルビレックス新潟、京都を中心としたチームで攻サンガと対戦する。三上主将は「相手は強撃的なサッカーが特徴。前線から守備に動くなど豪だが、自分たちの力をチーム全体で攻守に走最大限に出して頑張りたい」と意欲。監督を務める中村代表は「守りに以下が対象で、全国12チームが入ったらやられる。昨シーズンが予選リーグと決勝出場できなかった選手トーナメントで優勝を争の思いも込め、勝ちにこう。10チームがJリーグだわって臨みたい」と誓う。チームの下部組織。レノウ。



全国の強豪たちとの対戦を控え、練習に熱がこもる選手たち